

オリゴDNA・RNA 合成 価格表

2026年10月19日現在のものです。予告なく変更する場合がありますが、ご了承ください。

- ◆ 消費税について
記載されている金額はすべて「**税抜金額**」です。 税抜き合計金額に消費税を別途申し受けます。
- ◆ base価格について
15base以下の製品につきましては、全てbase価格を一律15baseとして算出させていただきます。ご了承ください。
- ◆ 1本のご注文でも送料は合成価格に含まれております。

オリゴDNAの価格は以下の計算で算出できます

- 非修飾オリゴDNA : base価格 × 塩基数 + 精製料金
- 修飾オリゴDNA : base価格 × 塩基数 + 精製料金 + 修飾価格

base価格 (最小ケール)		
	塩基数(base)	base価格[¥]
非修飾品	～25 base	45 / base
	26～50 base	70 / base
	51～150 base	100 / base
修飾品	—	100 / base

修飾品の対応塩基数は、修飾種によって異なります。

精製料金
(精製度順に記載)

	塩基数(base)	精製料金 [¥]	最小スケール 保証O.D.
GEL濾過グレード	～70 base	なし	3 O.D.
OPCグレード	～50 base	¥2,000	2 O.D.
	51～100 base	¥5,000	2 O.D.
HPLCグレード	～50 base	¥5,000	2 O.D.
	51～70 base	¥10,000	2 O.D.
	71～100 base	¥20,000	2 O.D.
PAGEグレード	101～150 base	¥30,000	0.5 O.D.

修飾価格
(ABC順に記載)

記載のない修飾もご相談に応じます。
インターナル修飾は、修飾種により可能な場合があります。

		Ex / Em (nm)	最小 スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾料金[¥] (base・精製料金別途)	補足
				GEL濾過	OPC	HPLC		
Acridinium		hv 430 nm	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	化学発光物質です。RIを用いないイムノアッセイ等に用いられます。
Azide	5' azide	—	2 O.D.	—	—	●	¥18,000	Click Chemistry Huisgen反応用の修飾です。分子の片方をアルキン、もう片方をアジドで修飾し、Cu+触媒下で付加環化反応させることができます。選択性・収率・反応速度において優れた結合手法と言われています。
	3' azide	—	2 O.D.	—	—	●	¥19,200	
Alkyne (Hexynyl Modifier)	5' alkyne	—	2 O.D.	—	—	●	¥16,500	
	3' alkyne	—	2 O.D.	—	—	●	¥21,500	
	2'-O-Propargyl (rA,rG,rC,rU)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
	3'-O-Propargyl (rA,rG,rC,rU)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
	C8-alkyne (dA,dC,dU/dT)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
amino	5' amino	—	2 O.D.	—	—	●	¥5,000	第一級アミノ基 (primary amine) の修飾です。塩基配列中の塩基部にリンカーを介して導入するインターナル修飾も可能です。5' 末端修飾の場合はリンカーの長さによりC6タイプ、C12タイプがあります。
		—	3 O.D.	●	—	—	¥5,000	
	3' amino	—	2 O.D.	—	●	●	¥5,000	
2-amino-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	デオキシアデノシンの2位をアミノ化した修飾塩基を導入できます。この試薬の導入でTm値が上昇したという報告があります。Hypercoolテクノロジー™のTm上昇塩基として導入されています。
2-Aminopurine		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	グアノシン・アデノシンの類似体であるヌクレオチドです。蛍光分子マーカーとして利用されることがあります。また、チミジンともシチジンとも対合できる性質を持ちます。
ATTO series		—	2 O.D. (*3)	—	—	●	(¥4)	ATTO-TEC社の蛍光物質です。様々な波長の色素をDouble Labeledプローブの蛍光物質としてラインナップしています。
BBQ650®		QR=550-750nm	2 O.D. (*3)	—	—	●	(¥4)	Berry & Associates社開発のダーククエンチャーです。長波長における消光を可能とします。
BCN (bicyclo[6.1.0]nonyne)	5' BCN (短リンカー)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	Click Chemistry Huisgen反応用の修飾です。歪みを持った環状アルキンで、銅(Ⅰ)イオンフリーでアジドと反応します。分子嵩が小さいことが特長です。
	5' BCN (長リンカー)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
	3' BCN (短リンカー)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
	3' BCN (長リンカー)	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
biotin	5' biotin	—	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	5' ビオチンはC6リンカー、3' ビオチンはTEGリンカーの仕様です。不可逆的に(例外あり) アビジンと非常に強く結合します。塩基配列中の塩基部にリンカーを介して導入するインターナル修飾も可能です。
	3' biotin (TEG-linker)	—	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	

		Ex / Em (nm)	最小 スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾料金[¥] (base・精製料金別途)	補足
				GEL濾過	OPC	HPLC		
biotin(つづき)	5' biotin-TEG	—	2 O.D.	—	—	●	¥20,000	TEGリンカー(15原子)の5' ビオチンです。
	Desthiobiotin	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	ストレプトアビジンなどのビオチン結合タンパク質への結合が低いビオチン類似体です。ビオチン/ストレプトアビジンよりも数桁小さい解離定数(Kd)を持ちます。
BHQ® Series	3' BHQ-0®	QR=430-520nm	2 O.D. (¥3)	—	—	●	(¥4)	Biosearch Technologies社のダーククエンチャーです。クエンチングレンジが異なる4種類をラインナップしています。3'末端にBHQ、5'末端に蛍光物質を修飾し加水分解プローブとする利用法があります。 また、BHQ-1®やBHQ-2®については、塩基部(dT)にリンカーを介して導入するインターナル修飾も可能です。
	3' BHQ-1®	QR=480-580nm	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥20,000	
	3' BHQ-2®	QR=560-670nm	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥20,000	
	3' BHQ-3®	QR=620-730nm	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥20,000	
8-Br-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	デオキシリボヌクレオチドの1ヶ所にBrが導入された修飾です。オリゴヌクレオチドの結晶学的構造研究に利用されます。また、光不安定性を利用したタンパク-DNA複合体構造研究のためのクロスリンク実験に用いられます。
5-Br-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
8-Br-dG		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
5-Br-dU		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
5-Carboxy-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	デオキシシチジンの酸化体であり、メチル基を除去する『脱メチル化』の中間体の一つです。
Cyanine-dyes	5' Cyanine-3	552 / 565	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥30,000	シアニン系蛍光物質です。
	5' Cyanine-3.5	581 / 596	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥30,000	
	5' Cyanine-5	650 / 667	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥30,000	
	5' Cyanine-5.5	678 / 703	2 O.D. (¥3)	—	—	●	¥30,000	
Dabsyl	3' Dabsyl	—	1 O.D.	—	—	●	(¥4)	蛍光物質と極近接した際にクエンチング効果が起こる「Collisional quenching」タイプのクエンチャーです。
Dabcyl	3' Dabcyl	—	1 O.D.	—	—	●	(¥4)	
DBCO (Dibenzocyclooctyl)	5' DBCO	—	2 O.D.	—	—	●	¥39,000	Click Chemistry Huisgen反応用の修飾です。歪みを持ったアルキンで、銅(Ⅰ)イオンフリーでアジドと反応します。
	3' DBCO	—	2 O.D.	—	—	●	¥39,000	
3' deoxy-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	3' 末端ヌクレオシドのリボース環の2' 位が水酸基(ヒドロキシル基)、3' 位がデオキシとなります。
3' deoxy-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
3' deoxy-dG		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
3' deoxy-dT		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
2',3'-Dideoxynucleosides		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	3' 末端に2',3'-ジデオキシヌクレオシドを含むオリゴDNAです。
2,6-Diaminopurine (2-amino-A)		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	グアノシン・アデノシンの類似体であるリボヌクレオチドです。蛍光分子マーカーとして利用されることがあります。また、チミジンともシチジンとも対合できる性質を持ちます。
DIG	5' DIG	—	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	in situハイブリダイゼーション、ノーザンブロットなどハイブリダイゼーションを用いた実験のプローブとして利用されます。DIG標識されたオリゴDNAは、蛍光標識された抗DIG抗体での検出が可能となります。5' 末端、3' 末端修飾に加えて、塩基配列中の塩基部に導入されたインターナル修飾も可能です。また、合成後のオリゴDNAの3' 末端に、酵素反応によってDIG-dUTPを複数個結合させるDIG-tailingを選択することも可能です。
	3' DIG	—	2 O.D.	—	—	●	¥13,000	
	3' DIG tailing 100pmole	—	100pmole (¥1)	—	●	●	¥20,000	
	3' DIG tailing 1000pmole	—	1000pmole (¥1)	—	●	●	¥60,000	
DNP	5' DNP	—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	DNPが修飾されたオリゴDNAはDNP抗体を用いて検出することが可能です。
d-Spacer		—	2 O.D.	—	●	●	¥12,000	塩基部がないデオキシリボース環のみをDNA鎖に導入する際に用います。
dU		—	2 O.D.	—	●	●	¥10,000	2' 位の水酸基が水素で置換された2'-デオキシリボース構造をもつウリジンです。
Eclipse®	3' Eclipse®	QR=390-625nm	2 O.D. (¥3)	—	—	●	(¥4)	蛍光を持たないダーククエンチャーの一つです。クエンチングレンジが広い ため、様々な蛍光色素をクエンチングできます。3' 末端にEclipse®, 5' 末端に蛍光物質を修飾し加水分解プローブとする利用法があります。
EDTA-dT		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	チミジンのC5位置にEDTAを持つオリゴDNAです。EDTA修飾プローブにより、配列特異的にDNA鎖を切断できるという報告があります。
Ethylnyl-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	デオキシアデノシンの7位にアルキン構造を持ちます。
Ethylnyl-dU		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	デオキシウリジンの5位にアルキン構造を持ちます。

		Ex / Em (nm)	最小 スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾料金[¥] (base・精製料金別途)	補足
				GEL濾過	OPC	HPLO		
Ethynyl-d-Spacer		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	糖の1'位(通常は塩基が結合)にアルキン構造が結合しています。クリックケミストリー付加環化反応させることにより、1,2,3-トリアゾール環が糖の1'位に位置する構造となります。
6-FAM	5'-FAM	494 / 525	2 O.D. (※3)	—	—	●	¥10,000	リアルタイムPCRでよく使用されている蛍光物質の一つです。蛍光を発する基本的構造部分はFITCと同じです。
5-F-dU		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	デオキシリボスクレオチドの一ヶ所にフッ素(F)が導入された修飾です。
Ferrocene	5'-Ferrocene (短リンカータイプ)	—	—	—	—	●	(※4)	レドックス(酸化還元)マーカーで、電気化学的な検出のために用いられません。
	5'-Ferrocene (長リンカータイプ)	—	—	—	—	●	(※4)	
FITC	5' FITC	494 / 518	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	汎用性の高い蛍光物質です。吸収と蛍光は、pH 依存性(pH 5~9)があります。塩基配列中の塩基部にリンカーを介して導入するインターナル修飾も可能です。
	3' FITC 1nmole	494 / 518	1nmole (※2)	—	—	●	¥10,000 (精製料金込み) ※2	
	3' FITC 3nmole	494 / 518	3nmole (※2)	—	—	●	¥15,000 (精製料金込み) ※2	
	3' FITC 10nmole	494 / 518	10nmole (※2)	—	—	●	¥20,000 (精製料金込み) ※2	
2'-Fluoro-RNA (2'-F, rA,rG,rC,rU)		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	ヌクレアーゼ耐性や標的RNA配列との結合親和性を向上させる目的で利用されます。
5-Formyl-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	デオキシシチジンの酸化体であり、メチル基を除去する『脱メチル化』の中間体の一つです。
GalNAc		—	(※4)	—	—	●	(※4)	アシアロ糖タンパク質受容体(ASGPR)と結合する単糖類で、ASGPR を多く持つ肝細胞へ集積します。 分岐構造をとる場合には、一価のGalNAc をホスホジエステル結合で連なるように繋げた構造となります。
HEX	5' HEX	535 / 556	2 O.D. (※3)	—	—	●	¥10,000	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用されます。
5-Hydroxymethyl-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	デオキシシチジンの酸化体であり、メチル基を除去する『脱メチル化』の中間体の一つです。
5'-I-dT		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	酵素を用いないライゲーションなどにも利用されます。
5'-I-U		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	リボスクレオチドの一ヶ所にヨウ素(I)が導入された修飾です。
5'-I-dU		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	デオキシリボスクレオチドの一ヶ所にヨウ素(I)が導入された修飾です。オリゴヌクレオチドの結晶学的構造研究に利用されます。また、光不安定性を利用しタンパク-DNA複合体構造研究のためのクロスリンク実験に用いられます。
inosine	dl (deoxyInosine, DNA base)	—	2 O.D.	—	●	●	¥5,000	AGCTの4塩基のいずれとも塩基対を形成できますが、その親和性はそれぞれ異なると言われています。デオキシリボスクレオチドタイプとリボスクレオチドタイプを選択できます。
		—	3 O.D.	●	—	—	¥5,000	
	rl (Inosine, RNA base)	—	1 O.D.	—	—	●	(※4)	
JOE (Dichloro-dimethoxy-Fluorescein)	5' JOE	525 / 548	2 O.D.	—	—	●	(※4)	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用されます。
LightCycler®Red	5' LightCycler®Red640(3'P) 1nmole	625 / 640	1nmole (※2)	—	—	●	¥20,000 (精製料金込み) ※2	5' 末端にアクセプター色素としてLightCycler®Redをラベルして、HybProbe®に用いられます。3' 末端をリン酸化することで、PCRにより3' 末端からの伸長が起こることのないよう設計されています。
	5' LightCycler®Red640(3'P) 3nmole	625 / 640	3nmole (※2)	—	—	●	¥30,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red640(3'P) 10nmole	625 / 640	10nmole (※2)	—	—	●	¥50,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red705(3'P) 1nmole	685 / 705	1nmole (※2)	—	—	●	¥30,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red705(3'P) 3nmole	685 / 705	3nmole (※2)	—	—	●	¥40,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red705(3'P) 10nmole	685 / 705	10nmole (※2)	—	—	●	¥60,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red610(3'P) 1nmole	590 / 610	1nmole (※2)	—	—	●	¥20,000 (精製料金込み) ※2	
	5' LightCycler®Red610(3'P) 3nmole	590 / 610	3nmole (※2)	—	—	●	¥30,000 (精製料金込み) ※2	
LNA	5' LightCycler®Red610(3'P) 10nmole	590 / 610	10nmole (※2)	—	—	●	¥50,000 (精製料金込み) ※2	RNAの2'位の酸素原子と4'位の炭素原子をメチレンで架橋(リボースをC3'-endo型で固定)した架橋型人工核酸です。らせん構造が固定化され、標的に対して非常に安定な二重鎖を形成します。
		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	

		Ex / Em (nm)	最小 スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾料金[¥] (base・精製料金別途)	補足
				GEL濾過	OPC	HPLC		
Maleimide	5' Maleimide	—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	チオール基(-SH)の求核付加(マイケル付加)を受けて結合を形成するため、結合リンカーとして広く用いられる活性基の一つです。保護基付きの状態での納品となりますので、ご使用前に脱保護が必要です。
1-Me-A		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	アデノシンの1位をメチル化した修飾塩基です。
1-Me-Pseudouridine		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	Pseudouridineの1位をメチル化した修飾塩基です。
5-Me-C		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	シチジンの5位をメチル化した修飾塩基です。
5-Me-dC		—	2 O.D.	—	●	●	(※4)	デオキシシチジンの5位をメチル化した修飾塩基を導入できます。この試薬の導入でTm値が1.3℃上昇したという報告があります。Hypercoolテクノロジー™のTm上昇塩基として導入されています。
5-Me-U(T)		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	ウリジンの5位をメチル化した修飾塩基です。
Methacrylate	5' Methacrylate	—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	Acridite™と同等の修飾基で、オリゴヌクレオチドを、共有結合でポリマーに組み込むことができます。
Methylene blue	5' Methylene blue	—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	レドックス(酸化還元)マーカーで、電気化学的な検出のために用いられます。
	3' Methylene blue	—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	
MGB		—	2 O.D. (※3)	—	—	●	(※4)	二重らせんの副溝の湾曲した部分に入り込むように結合します。Minor Groove Binder (MGB) プロープとして利用されるケースがほとんどです。プロープと副溝との可逆的結合は二重鎖構造を増強するので、MGBを持たないプロープと比較して、高いTm値を有します。
5-Nitroindole		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	DNA二本鎖形成の際に縮退(degenerate)サイト効果を示す修飾塩基の種類です。
3-Nitropyrrole		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	
N6-Me-A		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	アデノシンの6位の窒素原子がメチル化された修飾を導入する際に用います。
N6-Me-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	デオキシアデノシンの6位の窒素原子がメチル化された修飾を導入する際に用います。
5-OH-dC		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	それぞれ、シトシン、ウラシルの5位に水酸基が結合した修飾塩基を導入する際に用いるデオキシリボヌクレオチドです。主としてDNA損傷/修復の研究分野で利用されます。
5-OH-dU		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	
O6-Me-dG		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	グアニンの6位の酸素原子がメチル化された修飾塩基を導入する際に用いるデオキシリボヌクレオチドです。
8-OMe-dG		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	グアニンの8位がOMe化された修飾塩基を導入する際に用いるデオキシリボヌクレオチドです。主としてDNA損傷/修復の研究分野で利用されます。
2'-O-methoxyethyl-RNA (2'-MOE) (rA,rG,rC,rU)		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	ヌクレアーゼ耐性や標的RNA配列との結合親和性を向上させる目的で利用されます。シトシンは5-メチルシトシン、ウリジンは5-メチルウリジンとなります。
2'-O-Methyl-RNA (2'-OMe) (rA,rG,rC,rU)		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	ヌクレアーゼ耐性や標的RNA配列との結合親和性を向上させる目的で利用されます。
8-oxo-dA		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	それぞれ、アデニン、グアニンの8位が酸化された修飾塩基を導入する際に用いるデオキシリボヌクレオチドです。主としてDNA損傷/修復の研究分野で利用されます。
8-oxo-dG		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	
Phosphorylation	5' Phosphorylation	—	2 O.D.	—	—	●	¥5,000	ポリメラーゼ伸長ブロックや、酵素を用いたライゲーションなどに利用される修飾です。
		—	3 O.D.	●	—	—	¥5,000	
	3' Phosphorylation	—	2 O.D. (※2)	—	●	●	¥5,000	
Pseudouridine		—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	ウリジンの異性体で、RNAの安定化に関わるとされています。
Puromycin	3' Puromycin	—	2 O.D.	—	—	●	(※4)	翻訳プロセスを阻害する抗生物質であるPuromycinを3'末端に修飾できます。
ROX	5' ROX	578 / 604	2 O.D.	—	—	●	¥20,000	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用されます。
s-oligo (phosphorothioate)	s-oligo	—	10 O.D.(※5)	—	—	●	¥10,000	ヌクレオチド間の結合部位にあるリン酸基をS化(硫黄化)したものです。ほとんどのエキソヌクレアーゼ、エンドヌクレアーゼの活性に耐性があり、この構造の安定性からアンチセンスの実験に使用されています。
	s-oligoキメラ	—	10 O.D.(※5)	—	—	●	¥10,000	

		Ex / Em (nm)	最小 スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾料金[¥] (base・精製料金別途)	補足
				GEL濾過	OPC	HPLC		
Spacer (PEG linker)	Spacer9	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	DNA鎖のホスホジエステル結合骨格中にPEGリンカータイプのスベーターを導入する際に用います。
	Spacer18	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	『Spacer(3n+3)』のnがPEGリンカー数です。
Spacer (Alkyl linker)	SpacerC2	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	DNA鎖のホスホジエステル結合骨格中にアルキルリンカータイプのスベーターを導入する際に用います。『Spacer Cn』のnがスベーターの炭素原子数です。
	SpacerC3	—	2 O.D.	—	●	●	¥11,000	
	SpacerC4	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	
	SpacerC6	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	
	SpacerC9	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	
	SpacerC12	—	2 O.D.	—	●	●	(¥4)	
Sulfo-rhodamine 101 (Texas-Red)	5' Sulfo-rhodamine 101	595 / 615	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用されます。
	3' Sulfo-rhodamine 101	595 / 615	2 O.D.	—	—	●	¥15,000	
TAMRA	5' TAMRA	555 / 580	2 O.D.	—	—	●	¥10,000	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用され、FAMなど蛍光色素のクエンチャーとしても利用されています(QR=520-570nm)。塩基配列中の塩基部にリンカーを介して導入するインターナル修飾も可能です。
	3' TAMRA	555 / 580	2 O.D. (*3)	—	—	●	¥15,000	
TET	5' TET	519 / 539	2 O.D. (*3)	—	—	●	¥10,000	一般的によく利用される蛍光色素です。
6-thio-G		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	クロスリンク能を持ちます。
6-thio-U		—	2 O.D.	—	—	●	(¥4)	
thiol	5' thiol	—	2 O.D.	—	—	●	¥20,000	マレイミド (Maleimide) をもつ構造体との結合反応に使用することも可能です。またタンパク質のCystein残基との結合にも用いられます。
	3' thiol	—	2 O.D.	—	—	●	¥25,000	
Tide series (Tide Fluor/Tide Quncher)		—	2 O.D. (*3)	—	—	●	(¥4)	AAT Bioquest社の蛍光・クエンチャー物質です。様々な波長の色素とクエンチャーをDouble Labeledプローブ用の修飾としてラインナップしています。
Yakima Yellow®	5' Yakima Yellow®	530 / 549	2 O.D. (*3)	—	—	●	(¥4)	一般的によく利用される蛍光色素です。リアルタイムPCRでもよく使用されます。

Double Labeled プローブ

base価格 × 塩基数 + 修飾精製料金

	Ex / Em	最小スケール 保証O.D.	対応グレード			修飾精製料金[¥] (base料金別途)
			GEL濾過	OPC	HPLC	
5'-6FAM / 3'-TAMRA	494 / 525	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'Yakima Yellow™ / 3'-BHQ-1®	530 / 549	1 O.D.	—	—	●	¥40,000
5'-6FAM / 3'-ATTO540Q	494 / 525	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-6HEX / 3'-ATTO540Q	535 / 556	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-LightCycler®480Cyan500 / 3'-BHQ-1®	450 / 500	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-6FAM / 3'-BHQ-1®	483 / 533	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-6HEX / 3'-BHQ-1®	535 / 556	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-LightCycler®Yellow555 / 3'-BHQ-1®	535 / 568	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-LightCycler®Red610 / 3'-BHQ-2®	558 / 610	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-LightCycler®Red670 / 3'-BHQ-3®	615 / 670	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-LightCycler®Red705 / 3'-BHQ-3®	685 / 705	1 O.D.	—	—	●	¥40,000
5'-ROX / 3'-BHQ-2®	578 / 604	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-Cyanine-5 / 3'-BHQ-3®	650 / 667	1 O.D.	—	—	●	¥35,000
5'-6FAM / 3'-BHQ-1®-MGB	483 / 533	1 O.D.	—	—	●	¥65,000
5'-6HEX / 3'-BHQ-1®-MGB	535 / 556	1 O.D.	—	—	●	(¥4)

◆ 上記以外の蛍光・クエンチャーの組み合わせも可能です。価格につきましては、お問い合わせください。

- (*1) 3'DIG tailingの収量保証はpmoleです。
(*2) LightCycler®用プローブの収量保証はpmole表記です。
(*3) Double Labeledプローブの最小スケール保証量は 1 O.D.保証です。
(*4) お問い合わせください。
(*5) 組み合わせる修飾種により、保証量が変わる場合があります。

siRNA 合成 価格表

◆ 合成鎖長に関わらず、一律価格です。

精製	品質基準	合成料金 [¥]	最小スケール 保証O.D.
HPLCグレード	90%以上	¥50,000	4 O.D.
PAGEグレード	95%以上	¥80,000	2 O.D.

- ◆ 上記価格は、3'末端に2塩基のDNAオーバーハング (dTdT) をもつ21塩基程度のsiRNAの場合です。
◆ グレードの変更について
2007年8月21日をもちまして、従来の「カラムグレード」は廃止となりました。
◆ 一本鎖の全塩基RNAの合成も承っております。価格につきましては、お問い合わせください。

Hypercoolテクノロジー™

◆ 合成鎖長に関わらず、一律価格です。

		最小スケール保証O.D.	料金[¥] (base・精製・修飾料金込み)	補足
Hypercool Primer & Probe™	F/Rプライマー/5' FAM-3' TAMRA(or 3' BHQ1)プローブ	Fプライマー (OPCグレード, 2 O.D.保証) Rプライマー (OPCグレード, 2 O.D.保証) Double Labeled プローブ (HPLCグレード, 1 O.D.保証)	¥43,000	修飾塩基「2-amino-dA (2aA)」と「5-Methyl-dC (5mC)」と呼ばれる2種の新規Tm値上昇塩基を導入した際のTm値算出方法を確立することによって、このHypercoolテクノロジー™の実現を可能としました。
	3本 1セット			
	F/Rプライマー/5' FAM-3' BHQ1/5' HEX-3' BHQ1 プローブ		¥80,000	
4本 1セット				